

小学校学習指導要領に例示された日本の歴史人物解説

卑弥呼(ひみこ)…中国の歴史書に登場する邪馬台国の女王。呪術を用いたというのが、日本の記録にはない謎の人物。邪馬台国がどこにあったか(奈良県か九州か)、今も研究中。

聖徳太子(しょうとくたいし)…飛鳥時代の皇太子。仏教を敬い法隆寺や四天王寺を建立した。冠位十二階や十七条憲法を制定し、遣隋使を派遣して日本国家を成長させた。

小野妹子(おののいもこ)…第一回遣隋使の大使。聖徳太子が中国(隋)へ遣わした。中国と初めて対等の外交関係を結ぶ。平安時代の美人歌人小野小町はその子孫。

中大兄皇子(なかのおおえのおうじ)…のちの**天智天皇**。有力豪族蘇我氏を倒し、大化の改新を実施して律令制度を導入し、法律を整えて日本国家を完成に導いた。

中臣鎌足(なかとみのかまたり)…**藤原鎌足**。天智天皇の家来として大化の改新に協力。その子孫藤原氏は奈良・平安時代の政治を主導し、歴代皇后のほとんどがこの家の出身。

聖武(しょうむ)**天皇**…平城京の全盛期を築いた天皇。東大寺大仏を建立した。

行基(ぎょうき)…奈良時代の僧。仏教を民衆に広め、橋の作り方なども教えた。東大寺大仏建立にも民衆を率いて協力した。全国各地に彼が建てたという寺院がある。

鑑真(がんじん)…唐の僧。遣唐使の招きに応じ、苦勞の末、日本に渡り、唐招提寺を建立。

藤原道長(ふじわらのみちなが)…平安時代の貴族。藤原氏の全盛期を築いた。息子の頼通が別荘を寺院に変えて建てたのが、十円玉の表に刻まれている平等院鳳凰堂。

紫式部(むらさきしきぶ)…源氏物語の作者。当時の皇后(藤原道長の娘彰子)に仕えた女官。式部の呼び名は夫の役職式部卿(式部省の長官)からきている。「紫」がつくのは、源氏物語の主人公、光源氏の妻、紫上(むらさきのうえ)からとられたといわれる。

清少納言(せいしょうなごん)…枕草子の作者。当時の皇后(藤原道長の兄の娘、定子)に仕えた女官。夫が清原氏出身で少納言という役職にあったため、こう呼ぶが本名は不明。

平清盛(たいらのきよもり)…平安時代末期の武将。平治の乱で宿敵の源氏を倒し、貴族になり、武士の時代を導いた最初の人物。しかし息子たちは源氏に滅ぼされる。

源頼朝(みなもとのよりとも)…平清盛に滅ぼされた源氏の生き残り。関東の武士団を率いて平氏に勝利し、鎌倉幕府を開き、天皇から征夷大将軍に任じられた。

源義経(みなもとのよしつね)…頼朝の弟。武蔵坊弁慶らを率いて平氏と戦い連勝、壇ノ浦で平氏を滅ぼした。しかし兄頼朝と対立し、奥州(東北)にのがれ、そこで襲撃されて死去。判官(はんがん・ほうがん)という位を天皇からもらっていたので、頼朝よりも義経が好きな人々を判官びいきという。

北条時宗(ほうじょうときむね)…鎌倉幕府執権。中国などを支配するモンゴル帝国(元)から日本を攻撃されるが、二度にわたってこれを撃退させた。鎌倉武士団の全盛時代。

足利義満(あしかがよしみつ)…室町幕府三代将軍。京都に金閣寺を建立した。

足利義政(あしかがよしまさ)…室町幕府八代将軍。京都に銀閣寺を建立した。しかし当時武士たちの対立から応仁の乱が起こり、日本は戦国時代へ向かう。

雪舟(せっしゅう)…室町時代の画家。中国(明)に渡る。水墨画の名人。

ザビエル…戦国時代にキリスト教を伝えたスペイン人宣教師。

織田信長(おだのぶなが)…戦国時代の武将。尾張(名古屋周辺)を統一したあと、他の戦国大名を次々に破り、室町幕府を滅ぼした。琵琶湖の湖畔に安土城を建てる。天下統一直前、京都本能寺で家来の明智光秀に襲撃されて死去。

豊臣秀吉(とよとみひでよし)…織田信長の家臣となり、信長の死後、明智光秀を破る。そ

の後天下統一を進め、ついに統一を達成。大坂城(大阪城)や伏見城を建てる。

徳川家康(とくがわいえやす)…秀吉の死後、関ヶ原の戦いに勝利して江戸幕府を開く。大坂夏の陣で豊臣秀吉の子、秀頼を滅ぼした。家康をまつるために日光東照宮ができる。

徳川家光(とくがわいえみつ)…家康の孫。江戸幕府三代将軍。江戸幕府の全盛期を築く。島原の乱を鎮圧して鎖国を実施、キリスト教を禁止した。

近松門左衛門(ちかまつもんざえもん)…元禄時代の作家。人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を書いた。大阪出身。同じ時代に井原西鶴や松尾芭蕉がいる。

歌川(うたがわ)(**安藤**(あんどう)) **広重**(ひろしげ)…江戸時代後期の浮世絵師。同じ時代の浮世絵師に喜多川歌麿や葛飾北斎がいる。浮世絵のほとんどは多色刷り版画。

本居宣長(もとおりのりなが)…江戸時代後期の学者。日本の古典文学を研究し、日本独自の文化を尊重して国学を大成する。古事記や源氏物語の研究は特に有名。

杉田玄白(すぎたげんぱく)…江戸時代後期の蘭学者。オランダ語の解剖の本を訳して解体新書を書いた。

伊能忠敬(いのうただたか)…江戸時代後半の農民。蘭学を学び、日本全国をめぐり、はじめて精密な日本地図を作成する。

ペリー…アメリカ軍人。幕府に鎖国をやめさせるため黒船と呼ばれる蒸気船を率いて来日する。江戸幕府は開国を決定、これを機に幕末の動乱が始まる。ペリー自身は四年後没。

勝海舟(かつかいしゅう)…江戸幕府の家臣。日本海軍の創設者。咸臨丸で渡米。幕府滅亡直前、西郷隆盛と会談して江戸城を明け渡し、江戸を戦火から救った。

西郷隆盛(さいごうたかもり)…薩摩藩士(鹿児島)の武士。明治天皇の命令で江戸幕府打倒の兵を挙げ、江戸城攻撃直前に勝海舟と会談、戦わずに江戸城を占領した。やがて大久保利通と対立して政府を去り、鹿児島で反乱をおこし(西南戦争)、敗れて死去。

大久保利通(おおくぼとしみち)…明治維新の中心人物。薩摩藩士(鹿児島)の武士)出身。日本の近代化を推進し、政府のしくみを整えた。西南戦争を鎮圧させた翌年、暗殺される。

木戸孝允(きどたかよし)…明治維新の中心人物。長州藩士(山口県)の武士)出身。桂小五郎といった。薩摩とともに江戸幕府を倒し、明治維新を実現。五箇条の御誓文を作り、や廃藩置県、四民平等などの改革を推進する中心人物となる。

明治天皇…明治維新から大日本帝国憲法発布、日清・日露戦争勝利など、激動の明治時代を率いた天皇。現在の天皇陛下の曾祖父。

福沢諭吉(ふくざわゆきち)…明治時代の思想家。咸臨丸で渡米。西洋の啓蒙思想を導入して日本社会の近代化をめざし、自由民権運動を支援した。慶應義塾を創設。

板垣退助(いたがきたいすけ)…明治時代の政治家。自由民権運動の中心人物。土佐藩士。国会を開くことを政府に要求して自由民権運動を始めた。

大隈重信(おおくましげのぶ)…明治時代の政治家。自由民権運動の中心人物。佐賀藩士。早稲田大学創立者。二度にわたって内閣総理大臣も務めた。

伊藤博文(いとうひろぶみ)…初代内閣総理大臣。長州藩士(山口県)の武士)出身。木戸孝允や大久保利通の死後、政府の中心人物となり、憲法作成や国会開設を指導。政党も開いた。総理大臣を4回務めるなど、明治時代を代表する政治家。

陸奥宗光(むつむねみつ)…日清戦争の時の外務大臣。西洋との不平等条約改正に成功。

東郷平八郎(とうごうへいはちろう)…明治時代の海軍軍人。日露戦争のとき、連合艦隊を率い、日本海海戦でロシアのバルチック艦隊を全滅させ、大勝利した。

小村寿太郎(こむらじゅたろう)…日露戦争の時の外務大臣。不平等条約改正を完成させる。**野口英世**(のぐちひでよ)…明治～昭和の細菌学者。世界各地で伝染病を研究。